

「食えない人々」

作

田坂哲郎

田伏十色(たぶせといろ)

間借東（まがりあずま）

ジエイコフ・ホンタ

断食道場の、集会所。

たつた今、大きなお腹の男が空腹に耐えかねて椅子にかかりつき、必死になつてひきはがそうとされた挙句、床に頭を打ち付けて気絶している。死んでいないことは、時折大きいびきを立てることからわかる。

その横で、肩で大きく息をしている田畠十色（たぶせどいろ）。そして、比較的平気な顔をしていて、間借り東（まがりあずま）。パイプ椅子が倒れている。

間借大丈夫？（息が荒く答えられない）

ああうん、いや全然。そりやそうだ。ね。

十色
この人……（大丈夫でしょ？）

十色、立ち上がろうとするが、力が入らず立てない。

一五

間借

間借
もう少し休んでいた方が。

一色
三日

間借り 倒れている椅子を十色の近くに置く

二三

いえいえ。

卷之三

いや、これ、かぶりついてたから。

結構むしゃむしゃいつでましたよね。

十色 間借 間借 間借 間借 間借
十色 間借 間借 間借 間借 間借
十色 間借 間借 間借 間借 間借

間借

十色

(椅子を確認する)ん、まあ、見た感じ大丈夫みたいですけど。
あー……

まあ確かに、ヤですよね。

はあ……

人の食べかけの椅子、
食べかけの椅子、

別の持ってきますよ。

あ、いえ。だい、大丈夫です。

十色、頑張って立ち上がるうとするのを、間借が手を差し出し手伝う。

すいません。

いえいえ。

……の、人、大丈夫でしょうか。

そのうち起きますよ。

や、でも……結構派手に、いつたじやないですか。

ああ。

あたしも夢中だったんで。

まあでも、畳ですし。

そうですが……

起こします?

あー

起こします? 声かけて。

そのうち起きますよ。

起こしちゃう方が、あれかもしれないし。

ああ。

ねえ。

美味しいものを食べてる夢を見てるかもしれないし。
いいなー。

(笑う)

あ。(照れて)恥ずかし。

いやまあ、そうですよね。

……(椅子に目が行く)おいしそうに見えたんですかね。

見えたんでしょうね。

でもあんな風になっちゃいます?
ねえ。

あんな……ガオーッて。

間借
ケモノみたいでしたね。

11

1

まあでも、椅子の

食べられませんよ。

はい。

でも、(金属部分)どうやっても食べられないじゃないですか。

つまり、捨

それで考えた。いや、ねえ。ま、いかない。

でも食べられませんよ。

不可食部

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

いまちよつと、やばかつたですね。

金子の口

いや……、大丈

間

なんか、食事しないってあれですよね。時間が全然立たないですね。

なんかこういう、断食道場も色々あって、なんかいろいろ、ヨガとか、写経とか、

はいはい。
気を紛らわすためのね、なんか、あるみたいで

「……はまあ、あんまりないですよんねー

間借十色

間借

十色

間借

十色

間借

十色

間借

十色

間借

男

間借

間借

あらあら。

いやバレンのかなと思って。

潜入取材なのに。

いや、これ内緒ですよ。

はは。

1個くらい残しとけばよかったです。あのパン。

全部食べたんですか。

いやだつて、持ち物検査とかあると思って。
そこまで厳しくないですよ。

男、むづくり起き上がる。

二人、驚いて声も出ない。

男、のっそりと椅子に座る。

え。

え、大丈夫ですか。

……なに?

いや……

あの、頭、

(急な大声)ええ!?

あいや、その、

ごめん耳が遠いんだわ。

あ……

大きな声で話せるかな。

……

あの、頭、大丈夫ですか?

あ?

あ、た、ま!

ああ?

あ、た、ま! だ、い、じょ、う、ぶ、で、す、か!

ああ……

すいません。

ちょっと痛い。

え?

間借

十色

間借

十色

間借

男

十色

男

十色

男

十色

男

十色

男

十色

男

間借

男

間借

男

間借

男

間借

男

間借

ジェイコブ

十色って珍しいですね。十人十色の。
もうまさに。あの、父が画家で。
へえー
でしちゃうね。

間。

ねえちゃん。

はいっ。

俺にも名刺くれんか。

あ、はい。ぜひ。

(も、らつて)麒麟舎。

はい。

麒麟舎って言つたらあれだよね？ あのー、競馬ナウ。だっけ？

あれ、違つたか？

競馬は、やってないと思ひますけど。

えー？ だつて、麒麟つて、馬だろ？

(困つて間借を見る)

ま、伝説上の生き物ですから。

ええ？

(声を張る)伝説上の生き物ですから！

馬？

いや、麒麟ですよ。

ああ、そ、うかね。

はい。

(らつとする)

(名刺を)ありがとね。

あ、いえ……

あの、お名前なんていふんです？

名前？

いや、名刺もらつてるんですけど。名前ぐらい言つたらどうです。

ああー。ジェイコブ。

ジェイコブ?

ジェイコブ・ホンダ……

あ、外国人なんですか？

いや、日本人よ。

十色

ジエイコブ
間借・十色

ジエイコブ
おたくは。

ジエイコブ
え。

ジエイコブ
名前名前。

ジエイコブ
……間借です。

ジエイコブ
マガリ。

ジエイコブ
はい。
マガリって、あれ？ あのー、ほら、

ジエイコブ
……

ジエイコブ
映画のや、チャンバラの、ツブ小松が相棒役で、え、知らない？

ジエイコブ
いや……
ほらほらほら、「間にうごめく悪党どもに……なんとかんとか、ふななな……」

ジエイコブ
なにがなんぢゃら成敗いたす。拙者、マガリ……マガリ……拙者、マガリ……兄ちゃん

ジエイコブ
しかし、口上のほとんどの部分を音だけで覚えている。

ジエイコブ
必死に映画の主人公を思い出そうとする。

ジエイコブ
なにがなんぢゃら成敗いたす。拙者、マガリ……マガリ……拙者、マガリ……兄ちゃん

ジエイコブ
知らない？
ねえちゃんは？

ジエイコブ
知りません。

ジエイコブ
さあ……

ジエイコブ
そうかー。まあ、若い人は知らんかー。まあとにかくそのマガリ？

ジエイコブ
いやだから知らないので。

ジエイコブ
はあ。

ジエイコブ
あの、部屋を間借りする、の間借です。

ジエイコブ
へー。珍しい。

ジエイコブ
はあ。

ジエイコブ
下の名前は？

ジエイコブ
あずま？

ジエイコブ
東と書いて。

ジエイコブ
へー！

ジエイコブ
さうき、あの。

ジエイコブ
ジエイコブ・ホンダ。

ジエイコブ
間借

ジエイコブ
間借

(思いつきり顔や額の汗を手のひらで拭き) よろしく。(握手を求める)

間借、迷いに迷つて結局握手に応じる。

ジエイコブ まーしかし、大変でさーねー！

間借 ……

ジエイコブ 断食なんでしょう？

間借 はい。

ジエイコブ 食べたくても食べられない人もたくさんいるのに。

間借 ……

ジエイコブ いやそれ、あなたも同じじゃないんですか。

間借 え？

ジエイコブ あなたも。(ここ)にきてるんだから。

間借 いや、俺は別に……

間借 なんですか。

ジエイコブ ……

(ほらみろ、と言った気持ち)

魔狩、妖太郎じゃないですか？

間借 なに？

ジエイコブ あ！ それだ！

(検索したら)出てきました。

館内放送が流れる。

「このあと、15時半より、健康セミナーを行います。参加希望の方は、一階、講堂までお集まりください。このあと、15時より、健康セミナーを行います。参加希望の方は、一階講堂までお集まりください。」

繰り返し部分はもう聞いていない。

間借 なに、映画？

十色 なんか昔の。怪奇アクションって書いてますね。

ジエイコブ 拙者、魔狩妖太郎と申す！

十色 魔物を狩る、で魔狩ですね。

間借 かつこいいな。

ジエイコブ いやー。ありがと。すつきりしたわー

間借 間。

十色 今の放送。

間借 はい。

間借
十色

行かないんですか？

いや……
取材なら行かない。

いや……ま、そなんんですけど……

……

間借さんは、行かれます……？

あー、まあ、いや……あ、でも、十色さんが、あの、一人で行くのあれなら、

いやそんな、

全然別に

はい。

もうさつきからずっとお腹すいてて。

そりや、ねえ。

……行くべきですよね……

どのくらいあるんですか。

……ああ、一時間くらいじゃないですか。

ああ……

でもお仕事ですか……

あたし、なんかセミナーみたいな名前のやつ無理なんですよねー

まあ

(むかついてる)なんかこう、意識高い人たちが？ 集まってるじゃないですか？

……はあ

自分の、ライフステージを？ アップデートしたい、人たちが？

言い方。

あたしほんとそういうの無理っていうか、低いんですよ意識。

でも、「マナビ」で書いてるんでしょ？

だからそれがほんとになんでって感じですよね。

ていうか、麒麟舎って時点ですごいから。

いやいや……これはほんとにしようみな話、コネコネのコネです。

あ……へえ

ほんとは間借さんは行きたいんじゃないですか？

え、いや、

いやでも、意識高い悪いことじゃないから

か？

いや、まあ、そうだけど

はあ……

なに。

あれですか。間借さんも、ツイッターに、ライフハック本とマックブックエラーとスタバのカツ

プが写りこんだ写真をアップして、着弾とかつぶやくんですか。

間借
十色
……お腹すいた……

それ、具体的に誰の事言つてんの？

十色、ふきぎ込む。間借も、何も言えないでいる。

突然、すべてをぶち破るように、ジェイコブがポケットからビザポテト的なお菓子を出して食べ始める。

- 間借 ジェイコブ ……ちょっとちょっと、
間借 ジェイコブ ん?
間借 ジェイコブ いや……なにしてんですか。
間借 ジェイコブ いやなにって……
間借 ジェイコブ や、ええ?
間借 ジェイコブ うん?
間借 ジェイコブ 断食道場!
間借 ジェイコブ ……(食へ続ける)
間借 ジェイコブ 断食道場!
間借 ジェイコブ ……おう。
間借 ジェイコブ いや……なにやつとんすか。
間借 ジェイコブ いや、だうて、
間借 ジェイコブ だうて、
間借 ジェイコブ ちょっと小腹がすいちゃつて。
間借 ジェイコブ ……断食道場!
間借 ジェイコブ やーでもほら、人間食べないと。
間借 ジェイコブ はあ!?
間借 ジェイコブ 食べないとダメよー。
間借 ジェイコブ ……頭、大丈夫ですか。
間借 ジェイコブ あ? もう痛くない。
間借 ジェイコブ ……(十色に)あの、僕、男子部屋に戻るね。ちょっと、我慢できないから。
十色 あたしもちょっともう無理です。
十色 あ、じゃあ一緒にセミナー行く?
十色 それもうっていいですか。
間借 ジェイコブ あ?
間借 ジェイコブ え?
間借 ジェイコブ それ。
間借 ジェイコブ いやいやちょっと
十色 いいよ。
十色 すいません。

十色、両手でお椀を作り、そこにジェイコブ、ざらつと入れる。
十色、一気にほおばる。

間借

ええー

十色、ぼろぼろこぼしながら食う。むせるなど。
ケモノのように見えなくもない。

ジェイコブ

十色

間借

ジェイコブ

間借

十色

間借

十色

間借

十色

ねえちゃん。それが自由だよ。
(もぐもぐさせながら大きくなづく。)

いや……これ意味ないでしょ。

間借君は。

いりませんよ。

そう。

いやちょっと……これはひどい。ちょっといくらなんでも。ありえない。
なにがありえないのよ。

ここは、断食道場。

断食だろうがなんだろうが腹は減るでしょうがよ。

……なにを……は?

なんか食べたいと思つてなんか食べる。

はあ。

なにもありえなくないでしょう。

……ねえ、十色さん。まずいですって。

……

仕事なんだから。

先程はすみませんでした。

え?

空腹のイライラをぶつけてしまつて。

いえ……

(ジェイコブに)もうちょっとといいでですか。
おう。

ジェイコブと十色、仲良く食べ始める。

一人残される間借。

あの僕は、断食しに来てるんで。
はーい。

……したくて、してるから。

二人の咀嚼音が響く。

あの、もうちょっと、付き合いきれないんで、
間借、部屋を出ようとすると。

十色
間借

あ、間借さん。
……はい。

十色
間借

十色、カバンから菓子パンを取り出す。

十色、菓子パンを袋から取り出し、半分に割る。

どうぞ。

は?
パンです。

パンだよ。

……

十色
間借
十色
間借
十色
間借
十色
間借

……めっちゃくっちゃ美味しい。

それが自由だよ。
うるせえよ。

間借
ジエイコブ
間借

長い逡巡の末、間借、思わず菓子パンを食べてしまう。

そういうながら、間借、ジエイコブのお菓子も食べだす。
三人で仲良くお菓子を食べている。

十色

——
回復食楽しみだなー。
終わり。